

生理痛・腰痛・頭痛などに
イブプロフェン（IP）製剤の 鎮痛・解熱薬

フェリア®

第2類医薬品



重さ1包：1.0g

特有の芳香を持ち、甘味と清涼感のある白色の細粒

特徴

- 消炎鎮痛成分イブプロフェンが、生理痛や腰痛、頭痛、歯痛、肩こり痛などの痛みを鎮めます。
- メントールの香り、のみやすい白色の細粒です。
- 口中でサッと溶け、吸収がよくすみやかに痛みや発熱をやわらげます。
- 携帯に便利で、くちびるに触れずにのめるスティック包装です。

効能

- 生理痛・腰痛・頭痛・歯痛・咽喉痛・関節痛・筋肉痛・神経痛・肩こり痛・抜歯後の疼痛・打撲痛・耳痛・骨折痛・ねんざ痛・外傷痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

用法
用量

次の量を、なるべく空腹時をさけて、水またはお湯で服用すること。

年齢	1回量	1日服用回数
15歳以上	1包	3回を限度とする。 服用間隔は4時間以上あけること
15歳未満	服用しないこと	

品質
保証期間

4年

成分

3包（3g、1日最大服用量）中

成分	含量
イブプロフェン	450mg

添加物：乳糖水和物、D-ソルビトール、ヒドロキシプロピルセルロース、ポリビニルアセタールジエチルアミノアセテート、ハッカ油

この医薬品は、「使用上の注意」をよく読んで正しくご使用いただきますよう、ご説明ください。
「使用上の注意」は健康サイト(<https://alinamin-kenko.jp>)からご覧いただけます。

女性がよく経験する痛みとフェリア

女性は、からだをしっかりと支える首や肩、腰椎周囲の筋肉や靭帯の力が弱く、頭痛、肩こり痛、腰痛や女性特有の生理痛など“痛み”を経験する機会が多いものです。フェリアの主成分イブプロフェンは起炎物質プロスタグランジンの産生をブロックして、女性によくみられるこのような痛みや発熱をすみやかに鎮めます。

●生理痛

子宮筋が過度に収縮するため起こる痛みで下腹部痛、腰痛として感じます。解熱鎮痛薬を服用し、お腹を温めゆっくり過ごすようにしましょう。



●発熱



●頭痛 片頭痛

頭の片側がズズズキと痛み、時間とともにだんだん強くなります。解熱鎮痛薬を服用し、睡眠を十分とるようにします。痛みがひどいときは、受診をしましょう。

緊張型頭痛

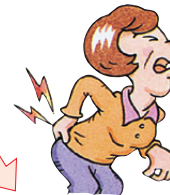
頭全体が締めつけられるような頭痛で、肩や頸部の“こり”をとまいません。お風呂やマッサージで筋肉の緊張をほぐすようにします。



●肩こり痛

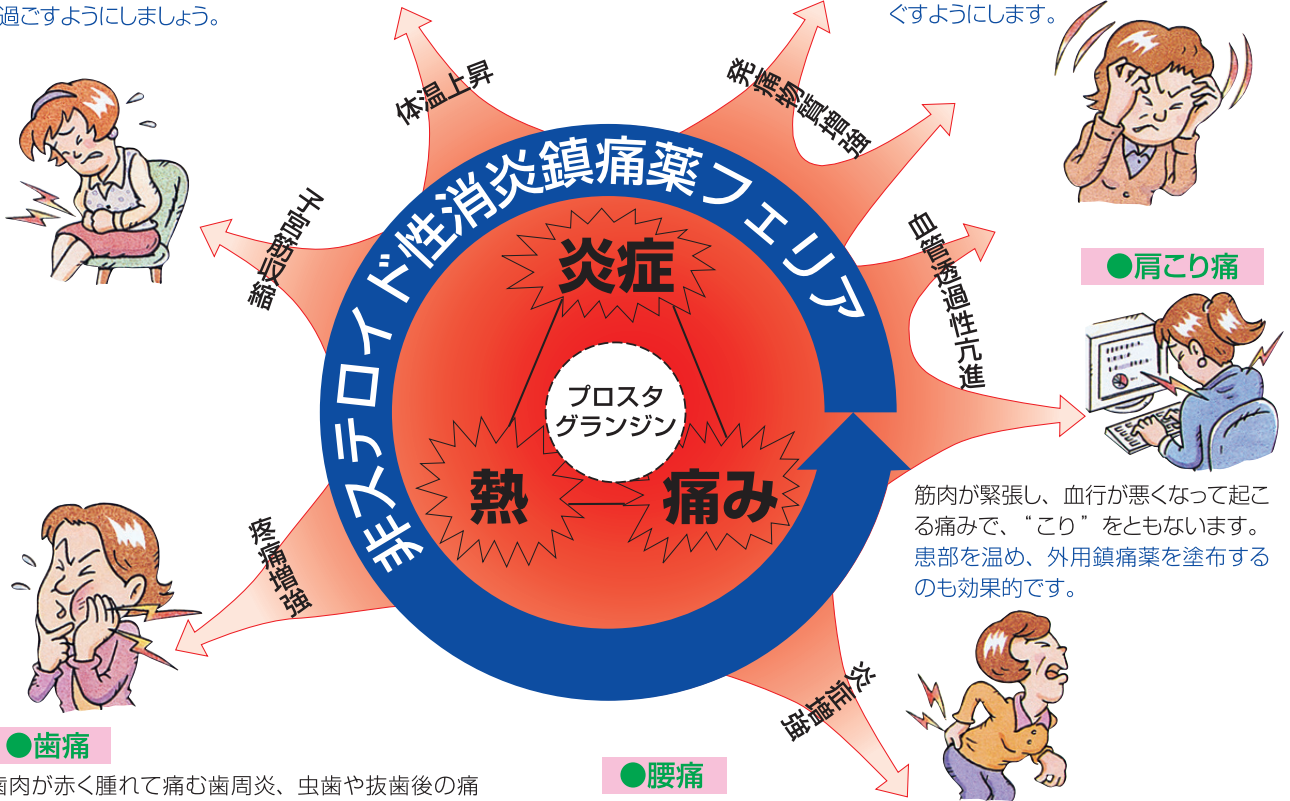


筋肉が緊張し、血行が悪くなって起こる痛みで、“こり”をとまいません。患部を温め、外用鎮痛薬を塗布するのも効果的です。



●腰痛

多くは筋力の低下、運動不足、悪い姿勢などが原因で起こる筋肉性腰痛です。急性期は患部を冷やし、痛みがとれたら、腰痛体操で腹筋や背筋を強化します。



●歯痛

歯肉が赤く腫れて痛む歯周炎、虫歯や抜歯後の痛みなどがあります。食後や就寝前のブラッシング励行と過労や睡眠不足などをさけるようにします。

販売名・包装・メーカー希望小売価格・バーコード

販売名	フェリア
包装	12包 (1g×12)
メーカー希望小売価格	880円(税抜価格800円)
バーコード	 4967 5276

(イメージ図)